

## スチュワードシップ活動

No.2023-4

2023 年 4 月 3 日  
責任投資推進部

## 投資先企業(国内上場株式)に対する議決権行使基準の改正

- 第一生命保険は、投資先企業(国内上場株式)に関する議決権行使基準について、一部改正を行います。今回公表の主な改正項目は以下のとおりです。

## 【取締役会の多様性および政策保有株式】～継続的なエンゲージメントを踏まえた議決権行使判断～

- ◆ 「多様性」(取締役会の女性比率等)および「政策保有株式」双方とも、総会議案精査時に正確な情報入手が困難である現状においては、定量的な議決権行使基準を導入するより、まずはエンゲージメントにより投資先の取組を促すべきあり、継続的なエンゲージメントを踏まえた投資先の取組の結果等を踏まえ、議決権行使判断を行うこととする。具体的には、下記内容を【議決権行使において重視するポイント】に記載の上、継続的なエンゲージメントによっても投資先の取組みが進捗しない場合には、代表取締役に対抗する旨を議決権行使基準において明記する。(2023 年 4 月適用開始)
- ◆ 「多様性」: 取締役として必要なスキルや経験等を踏まえた上で、ジェンダー、国際性および職歴等の多様性を確保し、取締役会の実効性を高めることが重要であり、その観点から多様性確保について具体的な取組みを求める。
- ◆ 「政策保有株式」: 同株式の保有が相応に大きい投資先に対しては、保有に対する合理的な検証とその開示を、保有意義が低いと認められる場合には縮減を求める。

## 【不祥事企業における反対対象者】～反対対象者の記載見直し～

- ◆ 現状、代表取締役、指名委員会委員長および問題発生所管の担当取締役を反対対象者として明記しているが、不祥事の内容やその状況に応じて、適切な対象者に反対するため、「責任ある取締役」という表現に変更する。(2023 年 4 月適用開始)

※詳細については以下の当社ホームページをご参照下さい

議決権行使基準の改正について

[https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ssc\\_002.pdf](https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ssc_002.pdf)

議決権行使基準

[https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ssc\\_001.pdf](https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/pdf/ssc_001.pdf)